

取扱説明書

—目次—

安全に関して	3
1. 機械仕様	4
1) 機械各部の名称他	4
2) 取扱い上の注意	5
3) 御使用方法	5
2. テープセット方法	6
3. 操作方法	7
4. AS-100 カッター調整・交換方法	8
5. 保守保全	9
1) 給油・清掃	9
2) カバーの外し方	9
3) カッター刃の交換	10
6. 保証期間他	11
7. 故障診断書	12
1) 動作上の故障	12
(A) 機械が動かない	12
(B) 繰出しロールは回るが刃が動かない	13
(C) 刃のカッティング動作が連続する	13
2) 機能上の故障	14
(D) テープが前繰出しロールに巻き込む	14
(E) テープが蛇行する	15
(F) 繰出しロールが回るがテープが出て来ない	16
(G) テープカット後下刃にテープがくっつき過ぎる	16
(H) テープカット後テープが飛ぶ	16
3) テープが切れない	17
(I) 切れ味が悪くなった	17
(J) テープの途中までしか切れない	17
(K) テープが全く切れない	17
4) 消耗品	19
5) 御注意	19
8. 部品表	20
9. その他	
①組立図・・・MD 2 1－1 1 6 1 MD 3 5－3 6 7 6	
②電気配線図・・・CD 3 5－3 8 2 9	
③外観図・・・MH 4 0 0－2 7 3 3	

▲ 御 注 意 ▼

本取り扱い説明書（以下取説）の取り扱いに付いて下記の事項を守って下さい。

厳守事項

1. 取説に記載の注意事項は必ず守って下さい。
それを怠りますと、機械の誤動作のみならず、重大な人身事故が発生する可能性が有ります。
2. 取説の保管場所は、作業員の方がすぐに閲覧出来る場所として下さい。
3. 保管には、十分に気を付けて、汚れや破損の無きようにして下さい。
4. 本機械を移設又は転売を行う場合は、必ず取説を添付して下さい。

安全スイッチについて

本機には、安全スイッチが有ります。解除を行ったり、取り外しは絶対に行わないで下さい。重大な事故になります。




安全に関して

機械取扱上の注意事項

【安全上の注意事項】

本機を、安全に御使用していただくために、次の事項を厳守していただくようお願い

致します。守れなかった場合は**重大な人身事故**が発生する可能性があります。

表 示	定 義
 警告	これを守らないと死傷事故又は機械の故障につながります。
 警告	これを守らないと感電による死傷事故につながります。
 切断危険	カッターが有ります。切断、裂傷等の重大な事故が発生します。

危険箇所	危 険 内 容	作 業 上 の 注 意
カッター部	カッターの刃先が鋭くとなっており、指先、手等の身体が触れると <u>切れます。</u>	1. カッターの交換 手袋をして手を保護して下さい。 2. テープの交換 手袋をして手を保護して下さい。 3. カッター、テープの交換時にはコンセントから電源を、抜いて下さい。
修理、点検調整	機械を運転状態で行うと、 <u>挟み込まれ、巻き込まれ、感電します。</u>	1. コンセントから電源を抜いて下さい。 2. 時計、指輪を外して下さい。 3. 専門知識を有する人が、行って下さい。
電気装置	電気が通電しており端子、電装部品等に触れると <u>感電します。</u>	1. 部品交換時は、必ず一次側電源を切ってから行って下さい。 2. 濡れた手で操作しないで下さい。

オートディスペンサー 取扱説明書
(AS-100TW)

1. 機械仕様

機 械 寸 法	(長さ) 195 × (幅) 250 × (高さ) 495 (テープリール含む) mm
電 源	AC単相・100V 50/60Hz
消 費 電 力	20W
機 械 重 量	11kg
使 用 テ ー プ 幅	25～75mm
テ ー プ カ ッ ト 長 さ	標準タイプ: 50～500mm / (50Hz) 50～600mm / (60Hz) ※標準以上の長さを必要とするときは、 別タイマーを取付けることができます。
テープ繰出し・カット能力	約250mm/秒 (50Hz)・約300mm/秒 (60Hz)
使 用 テ ー プ 外 径	φ400mm 以下
使 用 テ ー プ の 種 類	「クラフトテープ類」 ・クラフト粘着テープ No.712 ・内装用クラフト粘着テープ No.7100 ・リパックテープ No.7700 「紙粘着テープ類」 ・紙粘着テープ No.720 ・包装用紙粘着テープ No.7210 「フィルムテープ類」 ・セロハンテープ No.29 ・ダンブロンテープ No.375 ・ダンブロンエース No.3200 ・バンディングテープ No.378
付 属 品	フットスイッチ用メタコン (フットスイッチは別売)

1) 機械各部の名称他

機械各部の名称は、別紙図 (MH400-2733) を御参照下さい。

{ EMBED ①AS-100TWは電源電圧AC100V用です。90～110V範囲内で
PBrush | 御使用下さい。

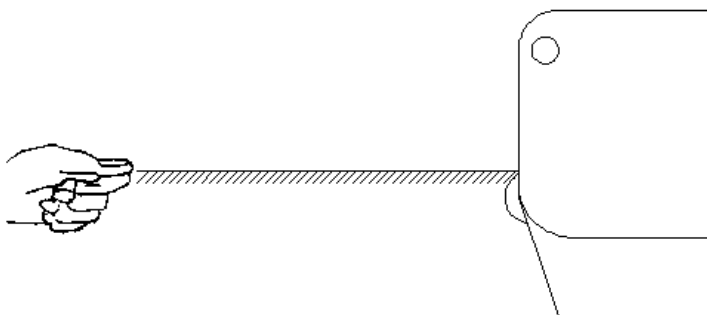


②万ーテープカットミステープの詰まり等のトラブルが起きた時は、必ず電源用
スナップスイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてから対処して下さい。
重大な事故が発生します。

③機械作動中は、カッター刃部分に絶対に指及び異物を入れないで下さい。
(固い異物を入れますとカッター刃が刃こぼれする原因となります。)

2) 取扱い上の注意

- ①テープカット長さは5 c m以上を厳守して下さい。
- ②テープカット長さが長い場合はテープの先端を手で保持して下さい。



- ③カッター刃の形状上テープのカット面が若干斜めになります。

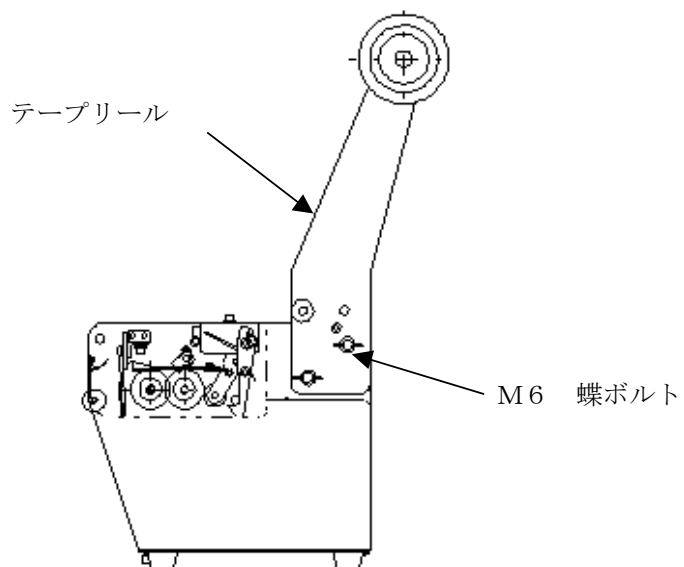
3) 御使用方法

必ず電源を切って行って下さい。挟み込まれ、巻き込まれ等の事故が発生します。



(警告)

- ①テープリール台、テープリールの組立下図の様に付属のM6 蝶ボルト 2 本にてリール台を本体に取付け、軸にテープリールを入れて下さい。
(必ず平ワッシャー、スプリングワッシャーを入れて下さい。)

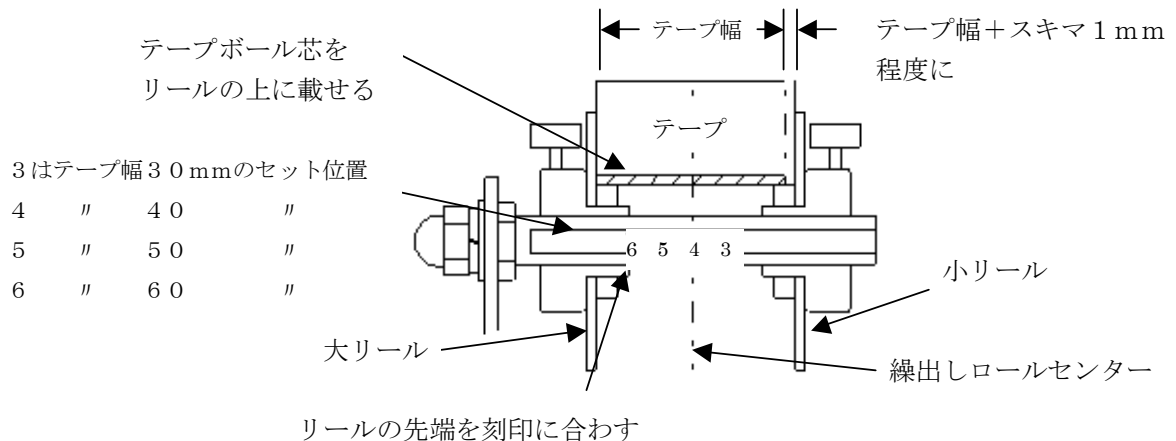


2. テープセット方法

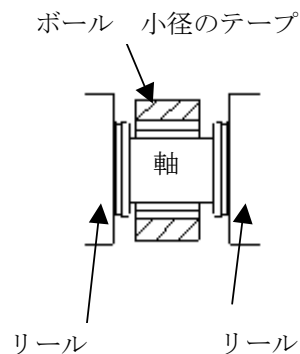
{ EMBED 必ず電源を切って行って下さい。挟み込まれ、巻き込まれ等の事故が発生します。
PBrush |



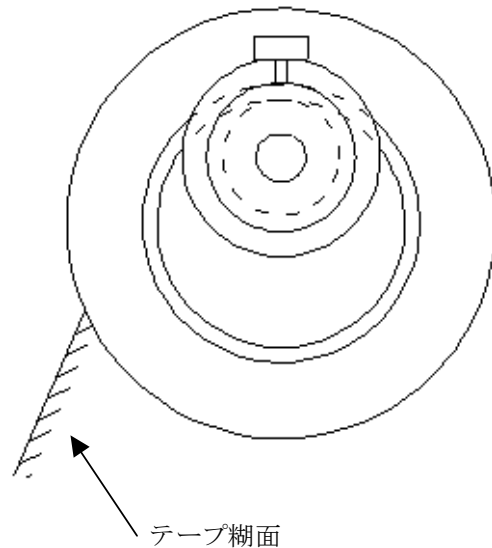
- 1) 使用テープ幅に合わせてリール位置を調整して下さい。リール軸に幅調整基準用の刻印を打っていますので、大リールの位置を合わせて下さい。
(調整後必ずロックツマミにて固定して下さい。)
- 2) テープ糊面が下方になる様に、テープをリールの上に乗せて下さい。
- 3) 小リールの位置を、下図の様に隙間をあけて合らし、ロックツマミにて必ず固定して下さい。



※AS-100はテープボール芯がφ75用ですが、リール軸の径がφ15ですので、φ15以上のボール芯を使用する事も出来ます。



◎ボール芯が小径の場合リール軸にテープを入れ、リール間にテープ



テープをはずす場合はテープを持ち上げ小リールへ、テープを抜くと簡単にはず

をセットして下さい。

せます。

- 4) テープをリールにセット出来ましたら、上カバーのツマミを左に回しロックを外しカバーを上を開いて下さい。
- 5) テープの糊面を下にし、中間ロールの下方からテープを通し、筋目入り繰出しロールのセンサーにテープをのせ確実にカバーを閉じて下さい。

3. 操作方法

- 1) 電源プラグをAC 100Vに接続して下さい。
- 2) 電源入切用押ボタンスイッチを、プッシュONにしますと、電源表示ランプが点灯し、電源が入ります。
再度押ボタンスイッチを押しますと表示ランプが消え電源がOFFとなります。
- 3) テープ繰出し長さ調整ツマミにてテープ長さを調整して下さい。
(注意) タイマーのバラツキ及びテープの性質により、ツマミの設定が同一でも、テープの種類によりカット長さが多少バラツキます。
- 4) テープ繰出し用押しボタンスイッチを1回押せば、所定の長さにテープを繰出し自動的にカットします。
(注意) 押しボタンスイッチを押したままにしますと、カッティングが連続し故障の原因となりますので、ワンタッチを守って下さい。
- 5) 押ボタンスイッチ1 (黒色) は、タイマー1 (黒丸印)、押ボタンスイッチ2 (赤色) はタイマー2 (赤丸印) でテープの繰出し長さを調整してください。

4. AS-100カッター調整・交換方法

必ず電源を切り、コンセントからプラグを抜いて行って下さい。切断、裂傷などの重大な事故になります。

AS-100のカッターは上刃と下刃を順々に接触させ、テープを切断するシャークカット方式を採用しています。

納品当初の刃先は鋭く尖っていますが、使用していきまると刃先が磨耗により丸くなりテープの切れ味が悪くなりますので、下記の様に刃を調整・交換して下さい。

①上刃は両刃タイプになっていますので、テープの切れ味が悪くなった場合、上刃先の上下を逆に取付けて下さい。

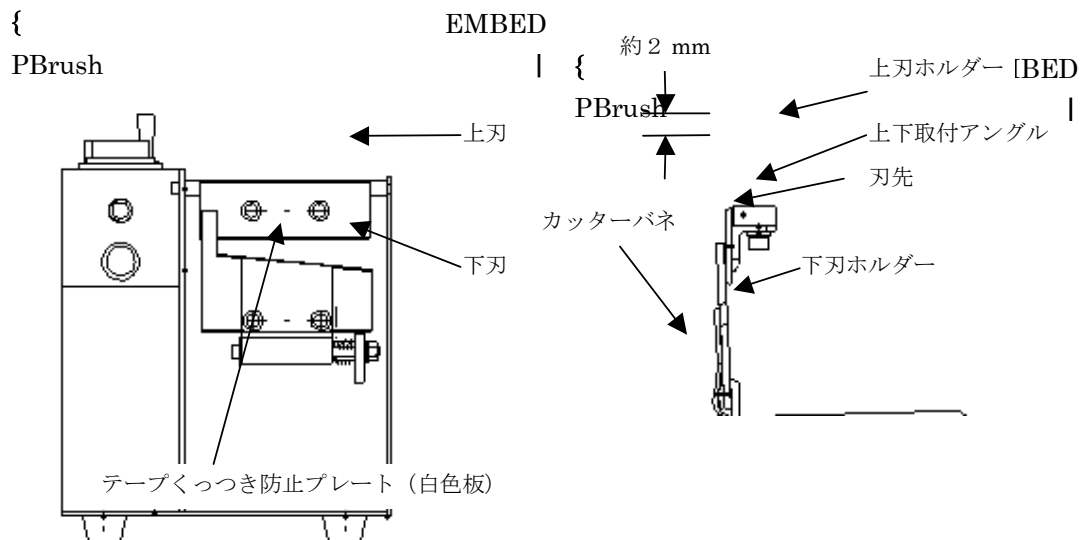
（注意）刃先に角度がついていますので、表裏を間違えない様にして下さい。

②上刃の取付穴は長穴になっていますので、図の様にホルダーの上面より刃の上面が2 mm程度下方に取付けて下さい。

（注意）上刃を上の方に取付け過ぎますと、刃のかみ合いストロークが少なくなり、広巾テープの端が切断できなくなります。

③下刃は「テープくっつき防止プレート（白色板）」を前に合わせ、下刃ホルダーとカッターバネの間に、刃を入れて取付けて下さい。

（注意）「白色板」の先端と下刃の刃先が同面になる様に取付けて下さい。



- ・ 刃先には1日1～2回程度ミシン油等を塗布して下さい。刃の耐久性が増し切れ味も良くなります。
- ・ 刃の裏側にテープ滓、糊等が付着しますと切れ味が極端に悪くなったり、テープが巻き込みますので時々清掃して下さい。

5. 保守保全

1) 給油・清掃

- ① 1日に1度カッター刃に油を軽く塗布して下さい。切れ味が良くなりカッターの寿命が増します。
(注意) 油を塗り過ぎますとカット後テープがとぶ事があります。
- ② 2ヶ月程度に1度カバーを外し、ギヤー・カッターカム等摩擦部分に、グリスを与えて下さい。
- ③ カッター刃にテープの切屑が付着しますと、切れ味が悪くなりますので時々清掃して下さい。

2) カバーの外し方

{ EMBED カバーを外す時は、必ず電源を切して下さい。挟み込まれ、巻き込まれ等の事故が発生します。
PBrush |



- ① 上カバー
カバーを上を開け前側面の皿ビスを外し、カバーを横に抜いてください。
- ② 前カバー
本体の前下部ツマミを左回りに緩めて頂き、カバーを手前に抜いて頂くと外れます。
- ③ 電気BOXカバー
5本の取付けビスを外して下さい。

3) カッター刃の交換

{ EMBED
PBrush |

必ず電源を切りコンセントからプラグを抜いて行って下さい。又、手袋等により手を保護して下さい。

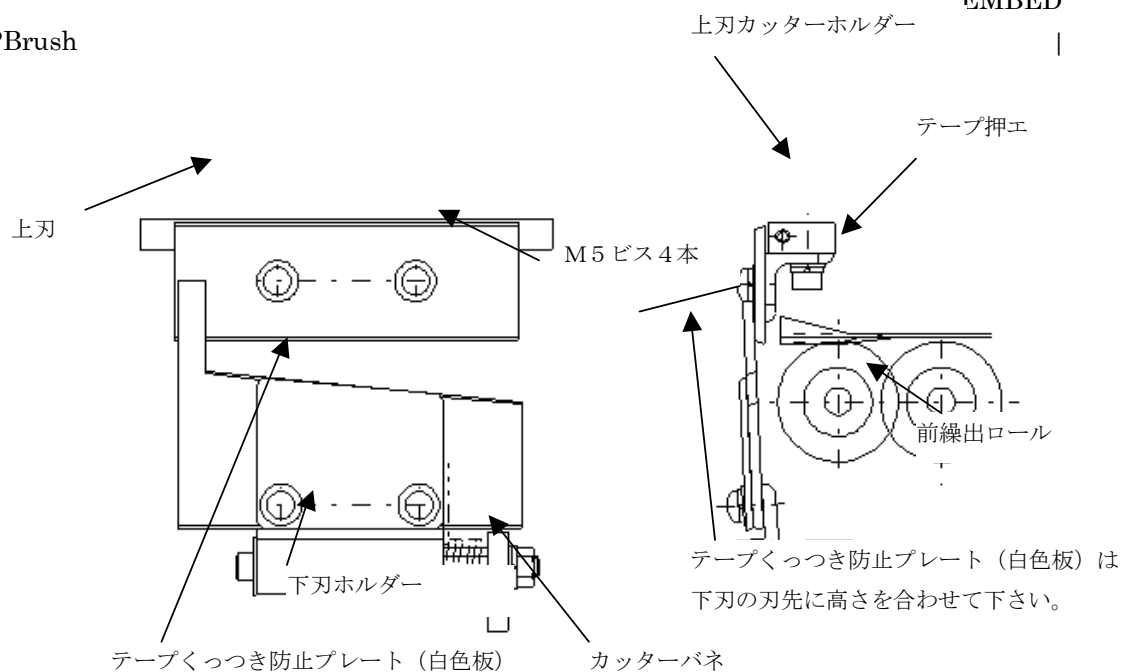
切断、裂傷等の重大な事故になります。



① 上、前カバーを外し下図を参考に取換えを行って下さい。

{
PBrush

EMBED



6. 保証期間他

☆保証期間、消耗部品、故障時の御照会に関して☆

①保証期間

本機の保証期間は、製作者の責に属すべき項目に限定し、3ヶ月です。

この間に、材質・設計又は製作上の不備に原因して故障が生じた場合は、無償にて修理又は改造致します。

消耗品は、保証期間内でも有償です。

②保証期間経過後の故障、修理に関して

保障期間経過後の故障・修理に関しては、有償にて対応させていただきます。

御請求費目

- イ) 基本料金
- ロ) 補修交換部品
- ハ) 交通費
- ニ) 宿泊費

③消耗品、補修部品、故障時の御照会に関して

消耗部品・補修部品の御手配、及び機会に不具合・故障が生じた場合は、販売店又は最寄の弊社営業所へ御連絡ください。

④本機は、国内仕様につき、外国での使用には責任が取れません。

取扱い販売店

--

7. 故障診断書

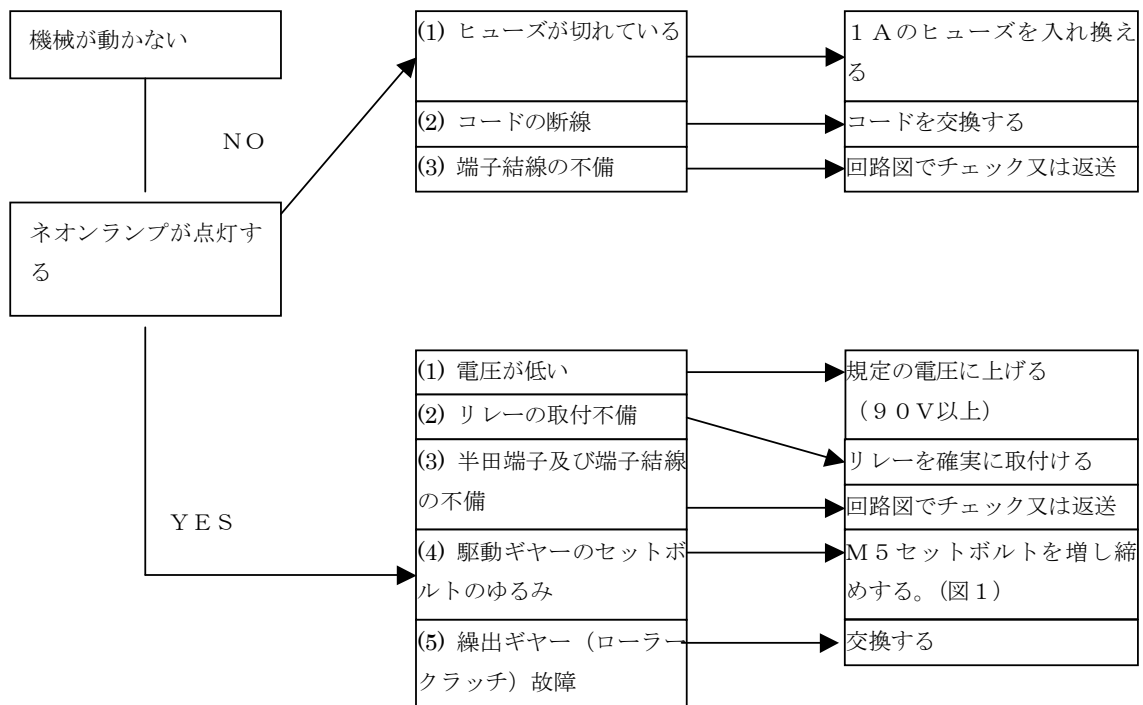
{ EMBED
PBrush |

必ず電源を切りコンセントからプラグを抜いて行って下さい。又、手袋等により手を保護して下さい。
切断、裂傷等の重大な事故になります。

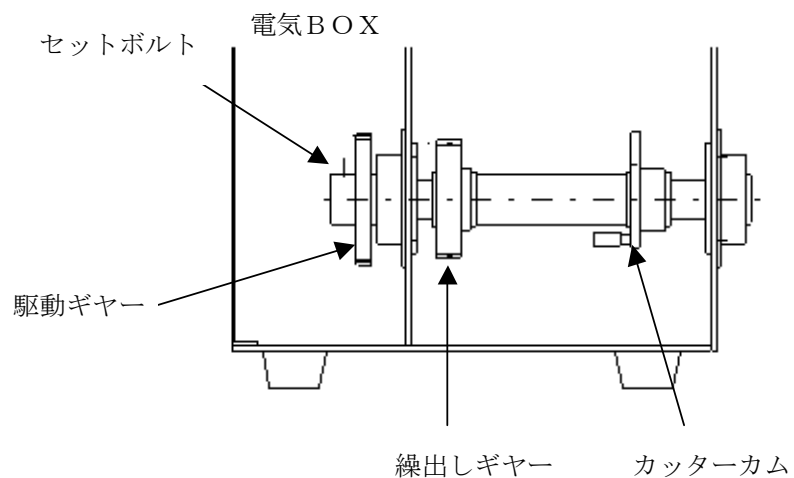


1) 動作上の故障

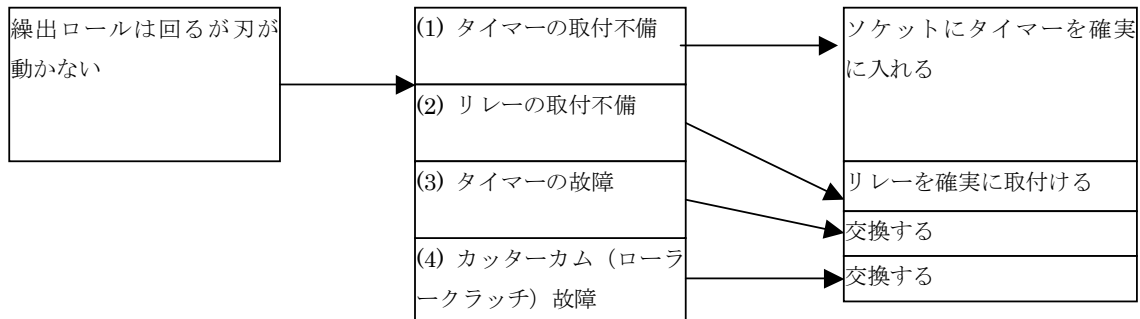
(A) 機械が動かない



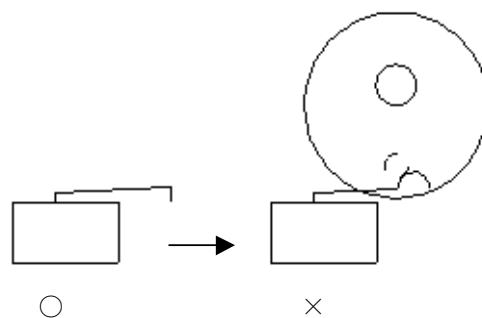
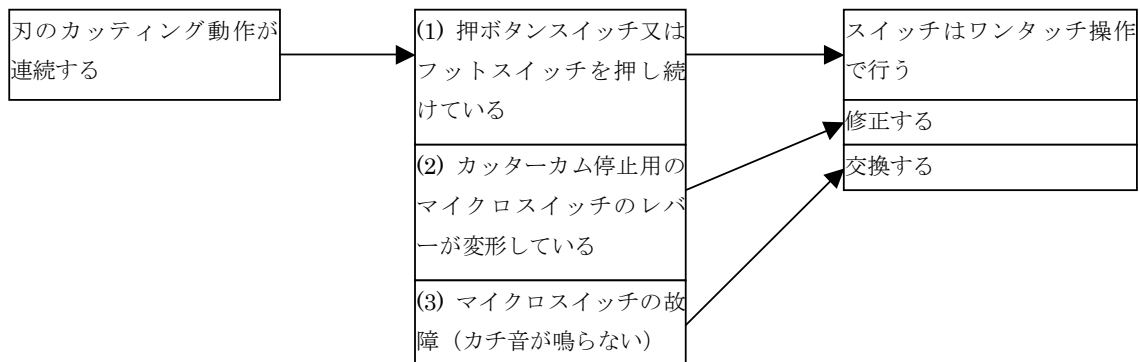
電気BOXカバーを外し、セットボルト (M5) を軸のセット溝に合わせて締め込む。



(B) 繰出しロールは回るが刃が動かない

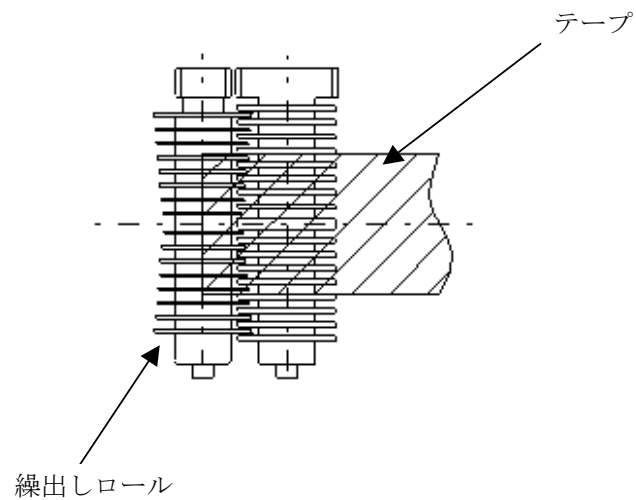
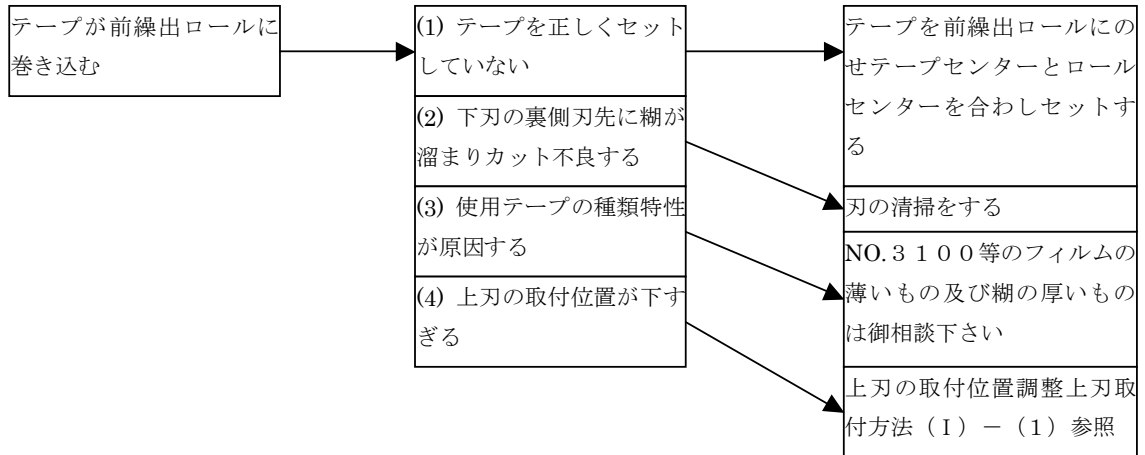


(C) 刃のカッティング動作が連続する

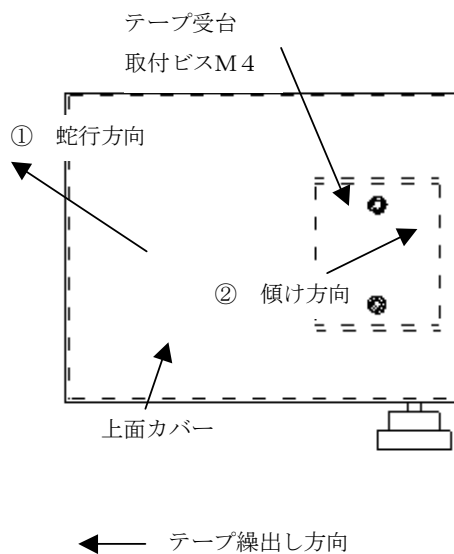
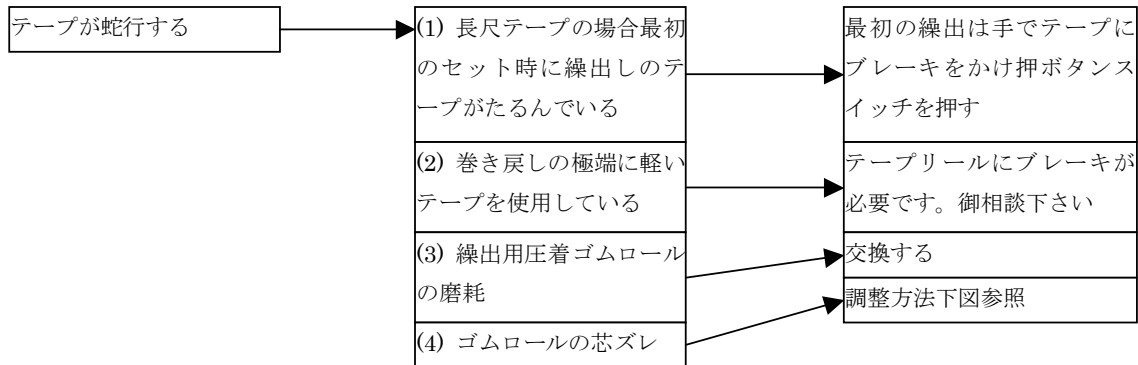


2) 機能上の故障

(D) テープが前繰出ロールに巻き込む



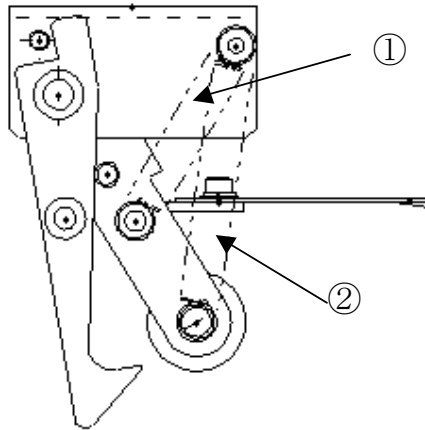
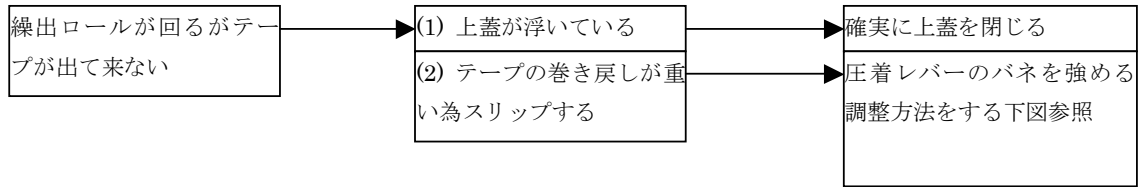
(E) テープが蛇行する



テープが①の方向へ蛇行する時は受台を②の方向へ傾けて取付けて下さい。
(調整は微妙です) 反対の蛇行は逆に傾けて下さい。

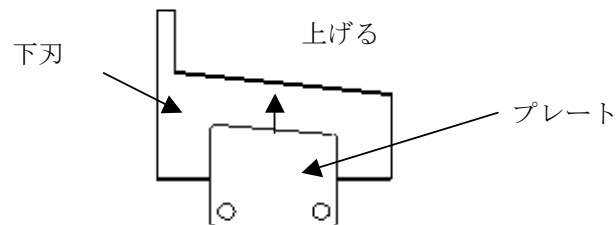
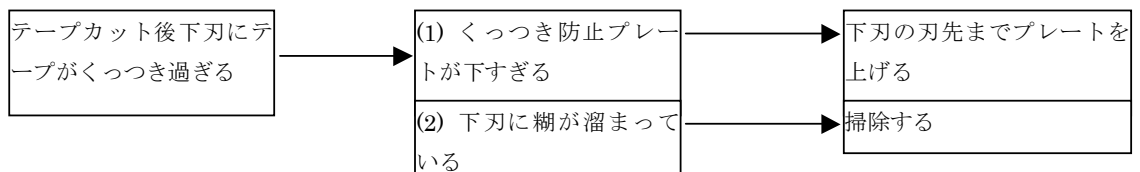
(注意) クラフトテープ500m長尺巻きを御使用の時、小巻テープで蛇行せず長尺の最初で蛇行するときは、テープリール側面板(大)をφ200にする事で修正できます。
(他社メーカーのテープは使用しないで下さい。テープ特性が異なります。)

(F) 繰出しロールが回るがテープが出て来ない

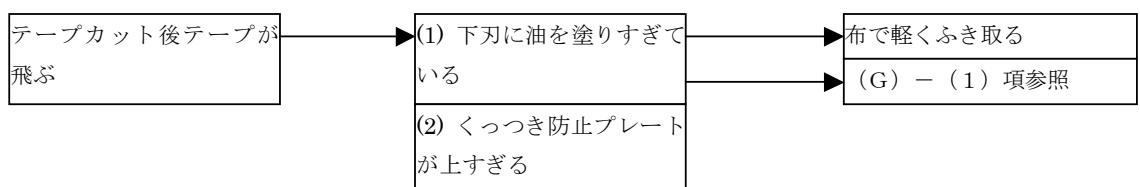


バネを①から②へ掛け直す
(注意) ただし、テープに筋目が強く入ります。

(G) テープカット後下刃にテープがくっつき過ぎる

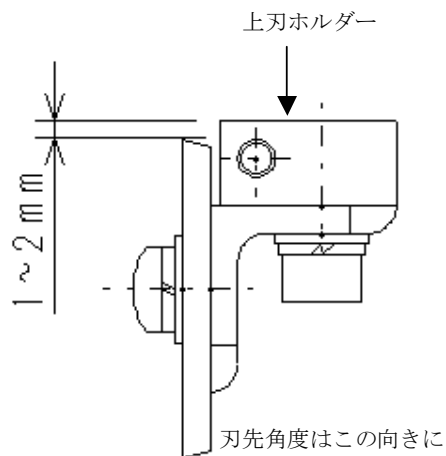
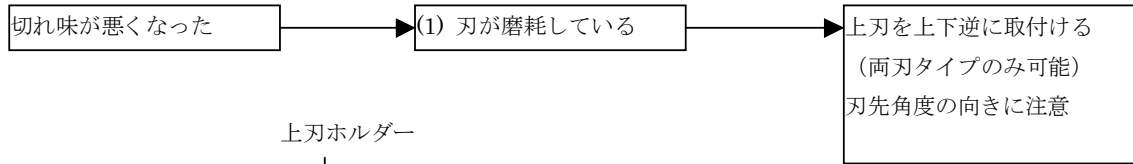


(H) テープカット後テープが飛ぶ



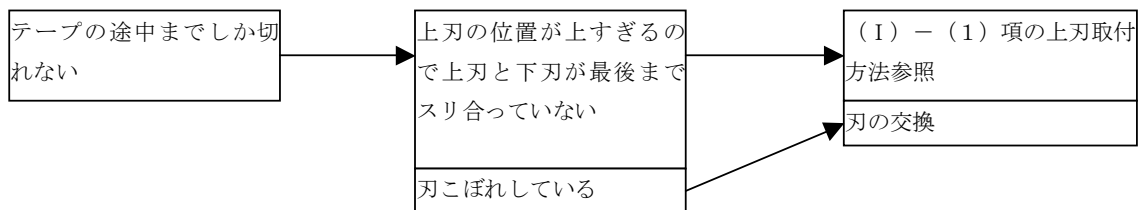
3) テープが切れない

(I) 切れ味が悪くなった

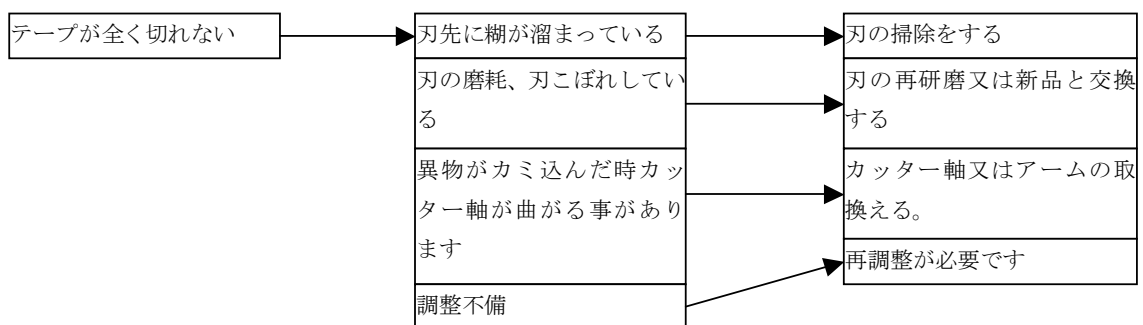


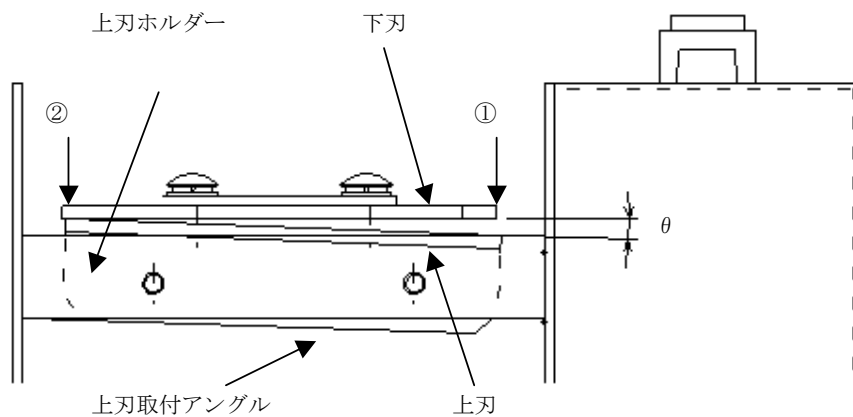
カッターのバネ圧を偏芯カラーで調整することもできます。

(J) テープの途中までしか切れない

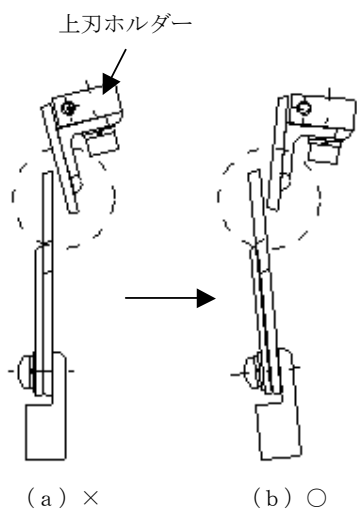


(K) テープが全く切れない





上刃ホルダーの裏に取り付けている上刃取付アングルを、上図の様に θ 角ほど若干傾け、上刃と下刃の擦り合わせが①～②の位置まで順々に点接触するように調整する。
 角度を大きくとる事により切れ味は増しますが、刃の耐久性は劣ります。又極端に傾けすぎますと、刃のカミ込みによる刃こぼれを起こしますので注意して下さい。



左図 (a) の様に上刃ホルダーの取付けが傾いていますと、上図①の点で上刃と下刃が擦りあわずテープカットができませんので、(b) の様にホルダーの取付けを修正する。

4) 消耗品

- ①カッター 上・下刃
- ②テープ繰出し用圧着ゴムロール
- ③カッターカムロール

5) 御注意

カッター刃は御使用テープの特性や使用状態により耐久性は変わりますが、約10～20万回程度は調整や交換無しで、御使用出来ます。

テープの切れが悪くなった時は、(I)の項を御参照して下さい。

向刃の掃除、油を塗布する事により、耐久性は著しく増します。

刃はメーカーにて常時在庫しておりますので、再研磨あるいは新品を御請求下されば、速やかにお送り致しますが、予備の刃を御持ち下されば、安心して御使用頂けると思います。

8. 部品表

1	サイドフレーム (B)	3 6	モーターカラー	4 0 1	モーター
2	上カバー	3 7	スイッチ台	4 0 2	軸受け L S B-G T
3	前上カバー	3 8	ナット板	4 0 3	軸受け L S B-G R
4	後カバー	3 9	軸	4 0 4	ローラークラッチ
5	電気BOX	4 0	ストッパー爪	4 0 5	止め輪
6	底板	4 1	ストッパー爪	4 0 6	ツマミ A-4 0-1
7	サイドフレーム (A)	4 2	受け台	4 0 7	クサリ
8	後繰出しロール	4 3	ゴムロールレバー	4 0 8	ゴム足
9	後繰出しロール軸	4 4	ステー	4 0 9	ツマミ K-8 S
1 0	前繰出しロール	4 5	ピースカラー	4 1 0	セットボルト
1 1	前繰出しロール軸	4 6	テープ押え軸	4 1 1	セットボルト
1 2	主軸	4 7	ゴムロール軸	4 1 2	蝶ボルト
1 3	駆動ギヤー	4 8	テープ押えホルダー	4 1 3	皿ワッシャー
1 4	繰出しギヤー	4 9	テープ押え板		
1 5	カッターカム	5 0	受けロール軸		
1 6	カラー			5 0 1	コード
1 7	ピースカラー	1 0 1	ゴムロール	5 0 2	タイマー
1 8	ローラークラッチカラー	1 0 2	受けロール	5 0 3	タイマーソケット
1 9	ピースカラー	1 0 3	ガイドロール	5 0 4	ヒューズホルダー
2 0	カッターレバー軸	1 0 4	アイドルギヤー	5 0 5	ヒューズ
2 1	カッターアーム	1 0 5	リールカラー	5 0 6	スナップスイッチ
2 2	下刃カッターホルダー	1 0 6	カラー (φ 6 0)	5 0 7	銘板 (ON-OFF)
2 3	下刃カッターホルダー軸	1 0 7	カラー (φ 8 0)	5 0 8	押しボタンスイッチ
2 4	カッターロール軸	1 0 8	カラー (φ 3 5)	5 0 9	ネオンランプ
2 5	カッターリール	1 0 9	クツキ防止板	5 1 0	メタコン
2 6	上刃カッターホルダー	1 1 0	偏芯カラー	5 1 1	メタコンキャップ
2 7	固定刃取付アングル	2 0 1	上刃 (固定)	5 1 2	リレー
2 8	ストッパー爪ピン	2 0 2	下刃 (移動)	5 1 3	マイクロスイッチ
2 9	ストッパー爪			5 1 4	端子台
3 0	アイドルギヤー軸			5 1 5	段付けビス
3 1	増速ギヤー	3 0 1	カッター用キックバネ	5 1 6	端子台カバー
3 2	リール台	3 0 2	引張バネ		
3 3	リール軸	3 0 3	テープ押えバネ		
3 4	ガイドロール軸	3 0 4	ストッパー爪キックバネ		
3 5	六角棒 (モータースティ)	3 0 5	ストッパー爪バネ		